

■6月11日

エアアジア(LCC)、ANAホールディングスとの提携解消を検討

(日経によると)

アジア最大の格安航空会社(LCC)のエアアジア(マレーシア)は、ANAホールディングスとのLCC事業での提携を解消する方針を固めた。合併会社であるエアアジア・ジャパンの業績が低迷しているため、エアアジアが持つ49%をANAが取得、エアアジアは国内で新たな企業と提携することでLCCの新会社設立を目指す。

10日までにエアアジアのトニー・フェルナンデス最高経営責任者(CEO)が全日本空輸の持ち株会社であるANAホールディングス幹部と協議を重ね、合併の解消で基本合意した。

エアアジア・ジャパンは現在、成田―新千歳、成田―福岡など国内線5路線、成田―ソウルなど国際線3路線を展開している。今年10月末まではエアアジア・ジャパンとして運航を継続するが、その後、同社株をANAが引き取り、完全子会社化する見通し。ANA傘下のLCCで、関西国際空港を拠点とするピーチ・アビエーションのブランドで運航を継続する可能性が高い。

エアアジアは合併解消以降も、日本市場を北東アジアの中核市場と位置づけLCCビジネスを継続させたい意向。既に新会社の設立に向けて複数の国内企業からアプローチを受けており、できるだけ早く新生エアアジア・ジャパンを設立し、LCCビジネスを展開したい考えだ。

エアアジア・ジャパンは2012年8月に成田空港を拠点に国内LCC事業に参入した。ANAの保有株比率は51%、エアアジアは49%だが、運営の主導権はエアアジアが握っていた。4月の利用率は50%台と低迷が続いている。

上記報道を受け同日、ANAホールディングスは「当社が発表したものではなく、現時点で決定している事実はない」というコメントを発表した。

また、ブルームバーグ・ニュースの電話取材として、ANAHDの広報担当者、野村良成氏は「現時点で、エアアジアとの間でエアアジア・ジャパンの合併事業解消について決まった事実はない」その上で、どのような形になっても、成田国際空港発のLCC事業は「ANAが責任をもって継続することに変わりはない」と語ったと報じている。

(日経)6/10

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD10068_Q3A610C1MM0000/?dg=1 (->

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD10068_Q3A610C1MM0000/?dg=1)

(bloomberg)6/10

<http://www.bloomberg.co.jp/news/123-MO65SD6S972D01.html> (-> <http://www.bloomberg.co.jp/news/123-MO65SD6S972D01.html>)

(ANA HD)6/10

http://www.anahd.co.jp/investors/data/tekiji/pdf/13_06_10.pdf (->

http://www.anahd.co.jp/investors/data/tekiji/pdf/13_06_10.pdf)

ANAHDG、シンガポールの投資管理会社業務開始、社長に岩片元エアアジアJ社長

ANAホールディングスは10日、アジアにおける戦略的投資の実行を加速させるために、シンガポールに投資管理会社を設立し、10日より業務を開始したと発表した。

新会社 Strategic Partner Investment Pte. Ltd.の社長には、元エアアジア・ジャパン社長の岩片氏を起用した。

同社は、ANA HDによるアジアへの戦略的投資におけるアジア各国への投資管理業務を中心にを行い、ANAグループ全体の成長領域大、収益の最大化を目指していく。

□新会社の概要

- | | |
|-----------|--|
| 1. 会社名 | Strategic Partner Investment Pte. Ltd. |
| 2. 設立登記日 | 2013年6月3日(月) |
| 3. 業務開始日 | 2013年6月10日(月) |
| 4. 資本金 | SD 120,000 |
| 5. 代表者 | 取締役社長(Managing Director) 岩片 和行 |
| 6. 主な業務内容 | アジア各国への投資管理業務および情報収集 |

(ANA HDプレスリリース)6/10

<http://www.anahd.co.jp/pr/201306/20130610.html> (-> <http://www.anahd.co.jp/pr/201306/20130610.html>)

神戸空港、5月、搭乗者数、前年同月比0.4%減

神戸市は10日、5月の神戸空港の搭乗者数が前年同月比0.4%減の19万9727人だったと発表した。現在神戸からの国内路線は6路線。(成田線が12月、熊本線が10月から運休)

路線別では、那覇が25.2%、新千歳が10.9%、茨城が3.2%と前年同月比より、利用者数が増加した。一方、鹿児島は13.7%、羽田が7%、長崎が0.2%それぞれ減少した。

月間の平均搭乗率は62.3%で、航空会社別では、スカイマークが約12万人で搭乗率62.6%、全日本空輸が約8万人で61.7%と、利用者数は前年同月比とほぼ同じ水準を維持している。

(神戸新聞)6/10

<http://www.kobe-np.co.jp/news/keizai/201306/0006066015.shtml> (-> <http://www.kobe-np.co.jp/news/keizai/201306/0006066015.shtml>)

(神戸市 HP)

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/access/airport/img/HP25.05.pdf> (-> <http://www.city.kobe.lg.jp/life/access/airport/img/HP25.05.pdf>)

中国国際航空、仙台—北京線、運航再開を取りやめ

中国国際航空は10日、7月2日から予定していた仙台—北京線(大連経由)の運航再開を取りやめると発表した。同路線は沖縄県・尖閣諸島問題の影響で乗客が落ち込み、昨年秋から運休していたが、3月27日に運航再開を発表していた。

同社は運航再開取りやめの理由を「機材繰り」としているが、利用率改善のメドが立たなかったもようだ。

(日経)6/10

http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM10052_Q3A610C1FF1000/ (-> http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM10052_Q3A610C1FF1000/)

IBEXエア5月輸送実績、平均利用率65.5%

IBEXエアラインズはこのほど、2013年5月の旅客輸送実績(速報値)を次のとおり発表した。利用率が最も高かったのは、福岡—大阪線の85.1%、ついで仙台—広島線の80.8%、福島—大阪線、宮崎—大阪線も70%を超える高搭乗率だった。

全路線13路線-1661便の利用者の合計は67,331人で、65.5%の利用率だった。

* PEACH(LCC)と競合する路線

路線	計画便数	就航便数	輸送旅客	利用率
仙台～大阪	124	122	4,122 人	58.7%
福岡～大阪	124	124	5,278 人	85.1%

(日刊航空)6/10

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

エアアジアX(LCC)、7月10日上場、270億円調達

エアアジアの長距離部門、エアアジアXは10日、7月10日にマレーシア証券取引所のメインボードに上場し、最大8億5,930万リンギ(約270億円)を調達すると発表した。

NNA ASIAによると、上場時に新たに5億9,259万株を公開する。公募売り出し価格は一般投資家向けが1株当たり

1.45リングになる見通し。全体の公開株式数は発行済み株式の1億9,753万株を合わせて7億9,012万株となる。全体の株式のうち、5億3,801万株を機関投資家、2億5,211万株を一般投資家に割り当てる。調達した資金は銀行債務の借り換えに33.3% (2億8,581万リング)、設備投資に32.6%、運転資金に29.7%、上場費用に残る4.4%を充てる計画だ。

エアアジアXは2006年に設立し、翌年11月に初の就航都市となるクアラルンプールとオーストラリアのゴールドコーストを結ぶ便の運航を開始した。現在は世界14都市を結んでいる。

(NNA ASIA)6/11

<http://news.nna.jp/free/news/20130611myr003A.html> (-> <http://news.nna.jp/free/news/20130611myr003A.html>)

大韓航空、秋田—仁川線、搭乗率低迷、日本人利用者激減

秋田県によると、大韓航空が運航する秋田—ソウル便の搭乗率は、3月52.1% (前年同月80.1%)、4月41.5% (同55.7%)、5月46.7% (同61.6%)と低迷。県が目標とする70%を大幅に下回っていることが分かった。3カ月とも日本人の利用者が激減している。

理由として最近の円安ウォン高や緊迫した北朝鮮情勢をあげた。

大韓航空の長崎—ソウル便は3月末で運休したが、県によると、秋田便は「具体的に運休という話にはなっていない」という。

(朝日新聞)6/11

<http://www.asahi.com/area/akita/articles/TKY201306100344.html> (->

<http://www.asahi.com/area/akita/articles/TKY201306100344.html>)

タイ、マレーシアからの訪日観光客、観光ビザ免除へ

政府は10日、タイとマレーシアから日本を訪れる旅行者について観光査証(ビザ)を免除する方針を固めた。全閣僚で構成する観光立国推進閣僚会議が11日まとめる行動計画に盛り込む。

成長戦略素案に掲げられた2030年に訪日外国人旅行者を3千万人超に増やす目標達成に向け、経済成長著しい東南アジアの旅行者を取り込む必要があると判断した。

12年の訪日外国人旅行者は837万人で、タイ、マレーシアからは計39万人に上る。現状では、両国は有効期限内なら何度でも入国できる「数次ビザ」の発給対象だが、免除でより訪日しやすくする。

(東京新聞)6/10

<http://www.tokyo-np.co.jp/s/article/2013061001002360.html> (-> <http://www.tokyo-np.co.jp/s/article/2013061001002360.html>)

リンク、転換社債で5億円の資金調達

リージョナル・エアライン設立準備会社のリンクは、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債を発行し、5月31日付で5億円の資金調達を行ったと発表した。ベンチャーキャピタルのグロービス・キャピタル・パートナーズ(GCP)が社債の引受先となった。

同社は昨年10月、日本の航空会社では初めてとなるターボプロップ機のATR72-600型機(席数68~74席)を導入して、2013年度中に航空運送事業に参入し、初年度からの黒字をめざすと発表しており、スターフライヤーと業務支援に関する基本合意書を締結した。

(日刊航空)6/11

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

(リンク HP)

<http://linkairs.jp/> (-> <http://linkairs.jp/>)

スカイマーク、5月、旅客輸送実績、利用率62.9%

スカイマークはこのほど、2013年5月の旅客輸送実績を発表した。これによると、全路線合計の提供座席は前年同月比5.9%減少、合計搭乗者数も同2.8%減少の51万5,526人だった。平均利用率は62.9%と前年同月と比べて、1.6ポイント上昇した。

4月20日から新規就航した仙台—札幌線の搭乗率は41%、福岡線の搭乗率は47.7%だった。両路線とも4月より搭乗率が低下した。

一方成田発着路線でLCCと競合、札幌線の搭乗率は34.4%、福岡線41.2%となり、4路線いずれも搭乗率5割を切った。

(日刊航空)6/11

<http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0611-03.pdf> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0611-03.pdf>)

(スカイマーク)

http://www.skymark.jp/ja/company/investor_loadfactor.html (-> http://www.skymark.jp/ja/company/investor_loadfactor.html)